

長野

# りんどう

2020.1  
No.59

発行／社会福祉法人長野りんどう会  
ライフサポートりんどう  
発行責任者／宮尾美代子  
〒381-0041 長野市徳間 3222  
TEL 026-239-7077  
FAX 026-239-7070  
<http://nagano-rindou.jp>  
E-mail:l.s.r@bg.wakwak.com

特集

## 家族との関わり



この作品は、ワークス上駒を利用されている芳川航大さんの作品です。

理念

私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉の推進に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。

# 特集

## 家族との関わり

ライフサポートりんどうでは、利用者の支援にあたりご家族の皆様には理解と協力をいただきながら、一緒に進めていきたいと思っています。

今回はライフサポートりんどうでの家族による活動や交流としての事業をご紹介します。

### 家族会の活動内容

家族会では、6月の定期総会を始めに、会員学習会・交流会を年数回開催し、会員の皆様の親睦交流や学習啓発を通して、利用者の支援につながる活動を行っています。

また、その一環として、ふれあい祭りや年忘れ会等、法人行事への参加も積極的に行っています。特に、近年は『8050問題』を中心に、「親亡き後」の当事者の支援をどうしていくかがテーマとなっており、先日10月10日(木)、社会福祉法人絆の会主催で行われた『障害ある人の「親亡き後」相続のしくみと注意点』をテーマとした研修会には、りんどうの家族会からも数多くの参加がありました。

今後も、機関紙『とくまの風』を中心に、学習会や研修会等の情報を発信していきますので、会員の皆様の積極的な参加やご意見をお待ちしております。



10月の研修風景

### 家族の日の紹介～スローステップの事業～

スローステップが毎月1回ひらいている「家族の日」これは、ライフサポートりんどうの利用者のご家族が集まり、日常のことを話したり、制度やサービスのことなどを勉強したり、利用者の体験談をきいたり、と様々なことをしています。以前よりは参加者が少なく、今は決まった方が4～5人ほど参加しています。しかし、毎月参加してくださる方は「こういうところでないとなんか話せない」「少ない人数でも続けたい」とおっしゃってください、今も細々ながらも活動を続けています。たくさんのご家族が参加する、という活発な活動ではありませんが、こういった形でも続けることに意味がある、ここに来れば毎月顔なじみに会える、というご家族の安心感があると信じ、毎月続けています。

毎年恒例のペンションドルチェでの食事会も続けていますよ！開催日は、スローステップ通信やとくまの風に掲載しています。是非1度足をお運びください！



ドルチェに行きました

実際に利用者の支援をしていく中で、ご家族のとの関わり方はさまざまです。  
次は「家族の立場」と「利用者の立場」とそれぞれからインタビューをしました。

《家族より》

**Q：ご家族から直接ライフサポートりんどうへの相談があり、現在サービスの利用につながりましたが、相談したいと思ったきっかけは何ですか？**

A：病院に入院して初めて発達障害であると聞いて、施設の利用を考えました。その病院にライフサポートりんどうのポスターが貼ってあり、存在を知りました。でも本人が外に出る気持ちがないし、力づくでひっぱっていくわけにはいかなかったので待ちました。本人がようやく「これではダメだ」と思ったので、まずは長野市に相談をしました。その後ライフサポートりんどうに相談の電話をかけました。ひきこもりだったので、ほんの少しの時間でも外に出られればと思っていました。

**Q：ライフサポートりんどうに相談して、家族の気持ちに変化はありましたか？**

A：先のことが見えて不安が晴れました。それまでずっとひきこもりで、このままどうなるか不安でいっぱいだったので。また通える場所が出来て、家族には時間が出来ました。時間が出来たことで家族会の活動に参加し、色々な情報をもらえるようになって良かったです。

**Q：福祉サービスの利用につながり、ご本人には何か変化がありましたか？**

A：波はあるけど、安定しています。以前はダメだった外食が出来るようになりました。

**Q：家族会の活動にも参加して、得たことはありますか？**

A：色々と情報が得られるので有難いのと、他の家族の方に共感してもらえるので助かります。

**Q：今、ご本人との関係はどうですか？**

A：以前は必ず親のどちらかが家にいるようにしていたのですが、その必要はなくなり本人も自分の時間を上手く過ごせるようになりました。家の外に出ていくことで『出来ること・出来ないこと』がわかりましたし、色々体験させてもらって有難いです。

---

《利用者より》

**Q：ライフサポートりんどうの事業所を利用する中で、家族との関係に変化が見られたと思うのですが、利用する前の家族との関係はどうでしたか？**

A：めちゃくちゃでした。自分も体調が悪く暴れてしまったので。父が母に「甘やかしすぎたからだ」と怒っていたので、怖い存在でした。

**Q：利用してからの関係はどうですか？**

A：怖い存在であるのは変わらないのですが、グループホーム・一人暮らしの時に保証人になってくれて有難いです。それと「イベントがあるから来て」と誘うと顔を出してくれます。

**Q：家族がいて良かったと思うことはありますか？**

A：いっぱいあります。両親もそうですが、兄弟もいるので心強いです。

# 令和元年度年忘れ会がありました

毎年恒例の年忘れ会が12月14日（土）に行われました。今年は例年と会場を変え、ライフサポートりんどうの近くにある稲田徳間地区センターで行われました。今年も参加者は約100名と、大勢の皆さんに参加していただきました。

実行委員によって企画されたビンゴ大会は、テーマがオリンピック、パラリンピックの競技ということで、各グループで真剣にどこのマスに何の競技を入れるのか話し合いが行われていました。各グループが豪華な景品をめざして戦い、大盛り上がりとなりました。

ワークス、フレッシュ、スローステップの発表では、各施設の紹介や、歌とダンスの発表、メンバーさんの特技や好きな事等の紹介など、どの施設の発表もそれぞれの魅力がたくさん詰まっていて、楽しむことができました。

会の終盤のりんどうの発表では、クリスマスの曲の演奏があり、一緒に口ずさんだりしながら聞かせてもらいました。

あっという間の時間でしたが、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。（吉沢）



# 満腹だったよ BBQ

10月4日（金）、ワークスでは毎年恒例のバーベキューを行いました。

参加者は、スタッフを含め34人。今回は準備のところから役割分担をしたり、グループを3つに分けて各グループの中で焼く人・食べる人と交替しながら、全員が楽しめるように工夫をしました。食材もお肉の他におにぎりや和風パスタ、利用者さんからいただいた沢山の野菜もあり、お腹いっぱい食べて大満足のバーベキューでした。お腹はいっぱいだけど、♫の焼きそばはやっぱり食べたいと手を伸ばす利用者さんが多々…。食後の片づけも、もちろん参加者全員で！！

よく食べ・よく動いたワークスの皆さんでした。（若林）



# 法人からのお知らせ

令和元年10月23日（水）午後2時から第84回理事会が開催され、次の議案について審議いただきました。

## 1 審議事項

次の3件ともに提案どおり承認されました。

### (1) 承認議案第1号 法人の今後の業務執行について（主な内容）

- ・法人が設置経営する事業のうち、自立訓練事業（日中訓練）、生活介護事業及び地域活動支援センター事業の実施内容を変更する。
- ・新規事業として居宅介護事業を導入する。
- ・事業運営に伴い賃借している土地を取得する。
- ・地域活動支援センター「スローステップ」とグループホーム「こまざわハウス」の早期建替えを進め、併せてグループホーム事業全体の見直しを行う。
- ・実施時期は、令和2年度以降とする。

### (2) 承認議案第2号 社会福祉法人長野りんどう会就業規則等の改訂について

- ・職員の年次有給休暇の確実な取得に向けて関係規定を整備する。

### (3) 承認議案第3号 社会福祉法人長野りんどう会給与規程の改訂について（主な内容）

- ・職員の処遇改善を進めるため、新たに「特定処遇改善手当」を創設する。
- ・宿直勤務の非常勤職員に支給する1回当たりの基本給の額を引き上げる。

## 2 報告事項

報告議案第1号 理事長及び常務理事の職務の執行状況について

### I 事業の実施状況について（実績等は、別紙事業実施状況及び収支状況）

#### (1) フレッシュとくま

ア 生活介護支援事業では、月平均登録者数は25.6人と定員10人をはるかに超える数となっていますが、週1～2回の利用者や欠席者が多いため1日平均利用者は10.0人で、何とか目標を達成できました。

健康面、衛生面や余暇を充実させる支援を目指しました。

イ 短期入所事業では、定期的な利用の理由としては、将来的に自宅から離れるため、休息をするため等様々ですが、1日平均利用者数は2.0人と、目標の1.2人を大きく上回りました。

また、“地域移行支援事業”に基づく精神科病院入院者の体験入所も増えました。

ウ 生活訓練事業（日中）は、利用者数は宿泊型利用者に連動して減少傾向です。日中の過ごし方も就労、通学等で、利用者数は1日平均9.9人と、目標の10人を若干下回りました。

利用者が希望する段階で、本人が望む生活が実現できるように支援しました。

エ 生活訓練事業（宿泊）では、3人がグループホームや自宅での生活に移行し、2人が施設や自宅から入所しました。

1日平均利用者数は13.3人と、目標の14人を下回りました。

1人が2週間程の休息入院をしましたが、その他は安定した生活を送れました。

## （2）グループホーム

共同生活援助事業は、昨年度に引き続き「利用者5人に対し世話人1人」の体制に加え看護師の定期での訪問等の支援を継続させています。

上半期は新規入居者2人、退去者2人の変動がありました。

1日平均利用者数は19.4人で目標の23人を下回りました。原因としては、体調の悪化に伴う入院者や自宅への長期外泊者などが多かったためと考えられます。

今後に向けては、利用者一人ひとりの体調の変化に気を配りながら、必要な支援を必要な方に提供できるよう努力していきたいと考えています。

## （3）ワークス上駒

ア 就労移行支援事業では、利用者の確保に努めましたが、一日平均利用者数は3.5人と、目標の5人を大きく下回りました。下半期に向け継続して利用者確保に努めていきます。

就労への取組としては、利用者個々の特性を活かした企業での事務、商品の品出し等の実習を行いました。

今年度もハローワークに出向きジョブガイダンスを実施しました。

就労に繋げていけるように、実習や事業所見学の場を設定して就職者を増やすようにしていきます。

イ 就労継続支援B型事業では、利用者の工賃アップを心掛け、農福連携事業への参加、受注依頼は極力受け入れるように心掛けました。

作業種別ごとに個別に対応する等工夫し、継続して取り組めるよう心掛けました。

利用者が目的を持って働ける職場を目指しました。

1日平均利用者数は31.9人と、目標の32人にほぼ近づきましたが、下半期も継続して利用者確保に努めます。

## （4）就労定着支援室

就労定着支援事業は、開設から1年が過ぎましたが、契約者は1人に留まっています。

今後の見通しとしては、今年就職された方2人を視野に入れて、就労定着支援事業に繋げていけるように働きかけていきます。

## （5）スローステップ（地域活動支援センターⅢ型事業）

今年度から地域活動支援センターⅢ型に移行しました。

1日平均利用者数は19.5人で、目標の15人を上回りました。

軽作業を実施している午前中は多くの利用者が来所しますが、午後2時・3時ごろになると2～3人ほどに減ってしまいます。

若槻地区住民自治協議会との共催事業は継続しており、今年度も6月に「コーヒーの淹れ方講座」を、7月に「麻雀教室」を行いました。

今年度はさらに発展させて、講座修了者によるコーヒーボランティアとして、若槻ホームや住民自治協議会の介護の集いに出向いてコーヒーを淹れて参加者にふるまいました。また、麻雀教室修了者による麻雀大会を10月に実施しました。

#### (6) 自立生活支援室

自立生活援助事業は、開設から1年が過ぎました。

昨年からの引き続きの利用者4人、今年度新規利用者が3人、計7人に対し支援を行ってきました。

利用期間が最初から3ヶ月と区切られての利用者や、転居に伴い途中で終了した利用者などがいたため、月平均登録者数は4人と目標の5人を下回りました。

原則1年という利用期間内に課題の解決までには至らず、改めて1年間という短い期間内に結果を出すことの難しさを痛感させられています。

#### (7) 相談室

特定相談支援事業では、サービス等利用計画、モニタリング合わせて358件の計画を作成しました。障害児相談は、6件でした。

就労等をするると一旦は契約が終了となりますが、また、別の福祉サービス利用時に復活する方もいました。

新規の計画相談にもできるだけ対応しました。

一般相談支援事業のうち地域移行支援は、3人への支援を継続中です。利用者のニーズをよく聴き、利用者が望む地域生活ができるように支援しています。

地域定着支援は、緊急時の連絡体制を整えています。安定した地域生活が送れて利用者が自信を持てた場合は契約解除としているため、実利用者数は9人と、減少傾向にあります。

## II 法人運営について

### ・資金収支の状況について（別紙収支状況のとおり）

収入額	87,435 千円	（前年度	76,853 千円	対比	+10,582 千円、+13.7%
支出額	88,491 千円	（前年度	87,689 千円	対比	+ 802 千円、+ 0.9%
収支差額	△ 1,056 千円	（前年度	△ 10,837 千円	対比	+ 9,781 千円）

## 令和元年度上半期（4月～9月）事業実施状況

項目	事業所	フレッシュとくま								共同生活 援助事業		ワークス上駒						地域活動支援セ ンターⅢ型「ス ローステップ」 (平成30年度は Ⅱ型)		自立生活 援助事業	
		生活介護 支援事業		短期入所 支援事業		生活訓練(通所) 支援事業		生活訓練(宿泊) 支援事業				就労移行 支援事業		就労継続支援 B型事業		就労定着 支援事業					
		30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度
定員(人)		10		3		10		17		25		6		35		なし		30	25	なし	
月平均登録者数(人)		22.6	25.6	—	—	22.1	18.2	15.8	14.3	—	—	6.0	3.8	45.2	48.1	0.0	1.0	86.1	83.3	1.5	4.0
開所日数(日)		133	135	183	183	125	125	183	183	183	183	119	120	119	120	38	120	121	119	38	118
延べ利用者数(人)		1,440	1,344	203	359	1,485	1,234	2,612	2,441	3,977	3,549	637	411	3,492	3,831	0	15	2,494	2,301	9	69
1日平均利用者数(人)		10.8	10.0	1.1	2.0	11.9	9.9	14.3	13.3	21.7	19.4	5.4	3.5	29.4	31.9	0.0	0.1	20.6	19.5	0.2	0.6
R1年度目標 (1日平均利用者数)		10人		1.2人		10人		14人		23人		5人		32人		登録者 5人		15人		登録者 5人	

### 相談支援関係

特定相談支援事業				一般相談支援事業				障害児相談支援事業			
		30年度	R1年度			30年度	R1年度			30年度	R1年度
サービス等 利用計画 作成件数	計画作成	113	141	地域移行支援	実利用者数(人)	5	3	サービス等 利用計画 作成件数	計画作成	5	3
	モニタリング	179	217		利用延件数(件)	12	3		モニタリング	4	3
	計	292	358	R1年度目標	5人	計	9		6		
	R1年度目標	計画作成 モニタリング	360 480	地域定着支援	実利用者数(人)	11	9		R1年度目標	計画作成 モニタリング	6 12
					利用延件数(件)	75	40				
					緊急対応(件)	0	0				
					R1年度目標	12人					

## 令和元年度上半期（4月1日～9月30日）収支状況（予算執行率・前年度対比）

※金額については、各科目で四捨五入してあるため合計と相違する場合があります。

(収入)

(支出)

(単位：千円)

	科目	予 算	執行額	執行率	前年度	増減額	科目	予 算	執行額	執行率	前年度	増減額
		A	B	B/A %	C	C-B		A	B	B/A %	C	C-B
事業活動による収支	就労支援事業収入	10,924	6,932	63.5	6,182	750	人件費支出	143,940	64,010	44.5	62,595	1,415
	障害福祉サービス等事業収入	192,326	69,550	36.2	69,211	339	事業費支出	16,569	6,807	41.1	7,508	△ 701
	自立支援給付費収入	165,063	56,469	34.2	55,160	1,309	事務費支出	25,497	9,609	37.7	9,920	△ 311
	障害児施設給付費収入	310	77	24.8	134	△ 57	就労支援事業支出	10,924	6,064	55.5	5,442	622
	利用者負担金収入	100	143	143.0	213	△ 70	支払利息支出	200	100	50	109	△ 9
	補足給付費収入	3,000	882	29.4	922	△ 40	その他の支出	810	3	0.4	447	△ 444
	特定費用収入	13,800	6,837	49.5	7,054	△ 217						
	その他の事業収入	10,053	5,143	51.2	5,728	△ 585						
	経常経費寄附金収入	600	10,780	1,796.7	891	9,889						
	受取利息配当金収入	4	2	50.0	2	0						
	その他の収入	694	141	20.3	179	△ 38						
計	204,548	87,405	42.7	76,464	10,941	計	197,940	86,592	43.7	86,020	572	
※1	施設整備等補助金収入	0	0	0.0	0	0	借入金元金償還支出	1,512	756	50.0	756	0
	固定資産売却収入	0	30	0.0	0	30	固定資産取得支出	2,500	405	16.2	307	98
	計	0	30	0.0	0	30	固定資産除却・廃棄支出	1	0	0.0	0	0
※2	積立資産取崩収入	1,300	0	0.0	388	△ 388	計	4,013	1,161	28.9	1,063	98
	計	1,300	0	0.0	388	△ 388	積立資産支出	2,405	738	30.7	607	131
						0	計	2,405	738	30.7	607	131
合計	205,848	87,435	42.5	76,853	10,582	予備費	1,490	0	—	0	0	
※1 施設整備等による収支							合計	205,848	88,491	43.0	87,689	802
※2 その他活動による収支							収支差額	0	△ 1,057	—	△ 10,836	9,779

# フレッシュとくま 上越日帰り旅行

10月22日（火）フレッシュとくまで、上越に日帰り旅行に行ってきました。

最初の目的地は昨年リニューアルされたばかりの上越市立水族博物館『うみがたり』予定時間が一時間しかなかった為駆け足での見学となりましたが、ショーが終わって一休みしているイルカや、親子で泳いだりひなたぼっこしているペンギンたちを見ることができました。

次に向かったのは鶴の浜温泉『鶴の浜ニューホテル』こちらでは美味しい食事を頂き、温泉でほっと一息したり、ホテルの売店で買い物を楽しみました。

最後は地元の魚屋さんでお土産を買い、全行程が終了。道中、通る予定だった道が通れず道の変更をする等のアクシデントもありましたが、事故もなく無事にりんどうに帰ってくる事ができました。

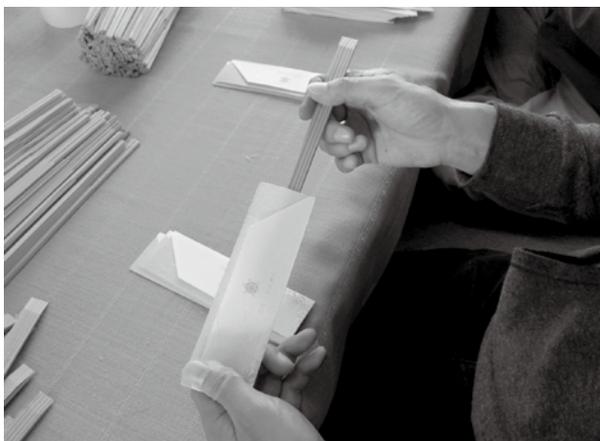
今年は諸般の事情で近場での日帰り旅行だったため「忙しかった」「物足りなかった」等の声がありましたが、また皆さんの意見をお聞きしながら、来年も楽しい旅行の計画ができればいいなと思います。

（清水）

## 軽作業、好評です！

スローステップでは、「ちょっと手仕事」と称して軽作業を月曜日から金曜日の10:00～12:00、午後の13:00～14:00の時間で行っています。作業内容は、「ノバ」と呼ばれるフルーツのキャップをひっくり返す作業と割り箸を袋に差し込む作業です。びっくりするほど工賃は低いですが、作業に携わった時間に応じて工賃もお支払いしています。交流だけではなく、何か手仕事したい、将来的には仕事に就きたいけど、まだ集中力続くか自信ない、というような利用者がいたらお勧めしている作業です。プログラムとしては好評で、毎日多くの利用者が作業に来ます。目に見えて成果が表れるのでやりがいもあります！

（風間）



## コーヒーボランティアに参加して

今年の6月に3回シリーズで開催された『コーヒーの淹れ方講座』に参加したメンバー2人と一緒に7月25日（木）若槻ホームに伺い、おやつ時間に参加者にコーヒーを淹れて飲んで頂きました。ミルで豆を挽くところからサーバーに落とすまでを手際よく行くと、お部屋の中にはコーヒーの芳醇な香りが漂い、ホームの方々からは「いい香りだね～」という言葉が漏れました。“おかわり”の声も上がり、メンバーは快く対応していました。

9月18日（水）は若槻支所の体育館で『介護の集い』が開催され、参加された80人に飲んで頂きました。帰り際参加された皆さんが「コーヒーおいしかったよ」「ごちそうさまでした」等の声を掛けて頂き、緊張した面持ちで参加していたメンバーの顔からも安堵の表情がうかがえました。

地域の講習会に参加し、修得した技術を地域の皆さんにお返しできたことは、法人としてもとても有意義な事のように感じました。（戸谷）

## 大盛況でした♪～徳間小学校の里まつり～

11月9日（土）に徳間小学校の里まつりに利用者2人、職員1人で参加しました。ワークスのお菓子とスローステップの手芸品を出品しました。

「去年ここで買ったよー。」と言ってくれたお客さんもいて毎年楽しみにしてくれているのが分かり、とてもうれしく思いました。

お客さんが途切れることなく来てくれ、大盛況でした。（小林）



## お菓子完売しました！！ ～若槻総フェスティバルに参加して～

10月27日（日）、若槻コミュニティーセンターで行われた第2回若槻総フェスティバルに参加しました。

ワークスはアップルパイやマドレーヌ等のお菓子を販売しました。当日は朝から多くの方が来場され、用意していたお菓子も2時間程で完売してしまいました。

他のお店では、地元で採れた野菜を使った味噌汁やおこわを販売していたり、採れたての野菜や果物を荷台いっぱい積んであるトラックの周りには大勢の人で賑わっていました。館内では、太鼓や獅子舞等が披露され、大変な盛り上がりのうちに終わりました。

会場は終始和やかな雰囲気、来年も是非に参加させていただきたいと思いました。

（小沼）

## マーじゃん大会行いました！

昨年同様、コミュニティーわかつきとの共催で、『なんちゃって男子大楽』の一環でマーじゃん教室を7月13日・20日・27日（毎回土曜日）と、ワークス上駒にて開催しました。

その受講者によるマーじゃん大会が10月5日（土）にワークス上駒にて行われました。参加者16人による熱き戦いが、4つの卓を囲む中、繰り広げられました。上位3位・5位・10位・ブービー賞の方にはそれぞれ豪華賞品が贈られました。全ての参加者が、真剣にマーじゃんに打ち込む姿に感動！！

とても充実した時間でした。 (風間)



## りんりんりんりん☆りんどーず 長野市芸術館玄関ホールで演奏！

10月6日（日）に開催されたふくしねっとフェスタに参加してきました。

会場が今までのトイゴ広場から長野市芸術館玄関ホールへと変わり、慣れない場所ではありましたが、そこはいつものりんどーずのチームワークを発揮し、楽しんで演奏することが出来ました。その場での対応力はりんどーずならではのす！

アルクマをはじめとするご当地キャラクターの登場や、美味しいお菓子・野菜・自主製品の販売、また他事業所のステージ発表も素晴らしく、盛りだくさんのふくしねっとフェスタでした。

(四柳)

## ソフトバレーボール県大会に参加しました

9月8日（日）、東筑摩郡朝日村トレーニングセンターで行われたソフトバレーボールの県大会に参加しました。今年も県大会に出場することが出来、選手の皆さんは大張り切りです。

結果は1勝1敗と、なんと県大会に参加してきて初の1勝を挙げる事ができました！選手の皆さんも、応援団の声援を受けて最後まで楽しみながら試合に臨む事ができました。選手の皆さんも、応援して下さいました。 (小沼)



## りんどうクイズ～あなたはどれだけ知っていますか？～

- ① 本部入り口には以前から公衆電話があります。前はピンク色でしたが、新しい今のものは何色でしょうか？
- ② ワークス上駒の職員が作業中に被っている帽子の色は何色でしょうか？
- ③ スローステップの中にあるトイレはいくつあるでしょうか？
- ④ フレッシュとくま4Fのフロアには掛時計がいくつあるでしょうか？
- ⑤ 本部受付カウンターには、いつも花と一緒に季節ものにちなんだケース飾りが置いてありますが、さて今のケースの中の飾りつけは何でしょうか？
- ⑥ ワークス上駒で所持している公用車の台数は？
- ⑦ スローステップで行われている軽作業はノバとあと一つは何でしょうか？
- ⑧ フレッシュとくまの生活訓練・生活介護のプログラムの中で月1回コミュニティ若槻に出かけ地域の方と雑巾縫いをしています。さてその取り組みの名前は何か？
- ⑨ 本部入り口の下駄箱の上に手作りの手毬を飾ってありますが、いくつ置いてあるでしょうか？
- ⑩ フレッシュとくまの宿泊型訓練では朝食の時間が決まっています。7時と7時半どちらでしょうか？

### 法人からお知らせ

法人への支援として寄付金を頂きました。

- ・後援会様から 730,000 円
- ・家族会様から 55,000 円
- ・篤志家様から 冷蔵庫・テーブル等、計8点
- ・小山尚美様 鈴木信夫様 鈴木田鶴子様 松澤富男様から 多額の寄付

### 編集後記

今回は「家族との関わり」についての特集を組ませていただきました。

ご家族と利用者さんとそれぞれにインタビューしましたが、双方とも思っていること、感じていることが沢山あり、とても感銘を受けました。

利用者と家族、双方が元気にありのままの生活が過ごせるよう、今後も支援をしていきたいと思いました。

(佐藤)

① 日 ② 水色 ③ 5つ ④ 3個 ⑤ 糸をはきかきか  
⑥ 55号 ⑦ 2割り曇り曇り曇り ⑧ ⑨ ⑩ 未細

りんどうクイズ